

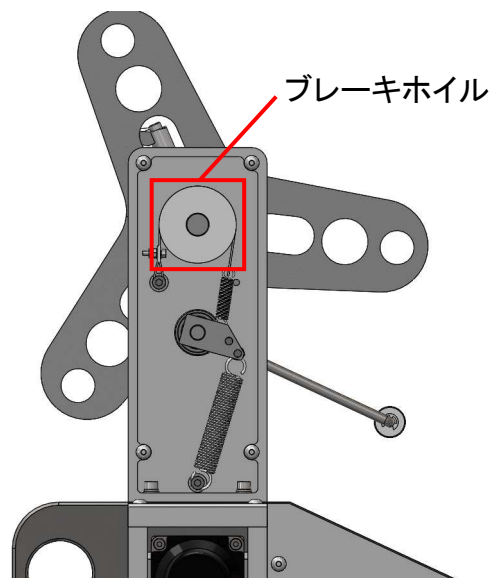
ブレーキホイール交換手順

AUTOMATIC LABELING SYSTEM

LA-5 シリーズ

⚠ 警告

本機を末永くお使いいただくために、またトラブルや故障を未然に防ぐためにも、日常のお手入れが必要です。作業終了後は、毎日清掃して常に清潔に保つよう to してください。



<ブレーキホイールが破損すると...>

- ラベルロールが空転し続ける
- ラベルが正常に繰り出されない

ブレーキホイールを交換する



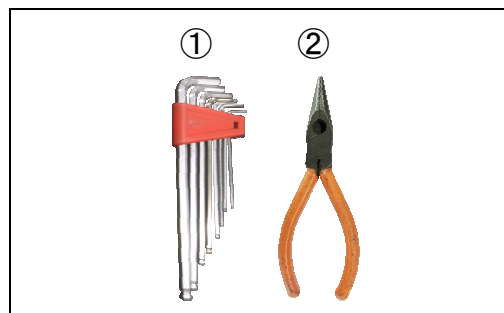
警告

- 交換を行う前に、操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ってください。ラベラーの駆動部やコンベヤーベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。
- 印字部周辺、駆動部周辺は高温になっている場合がありますので注意してください。火傷の原因となることがあります。

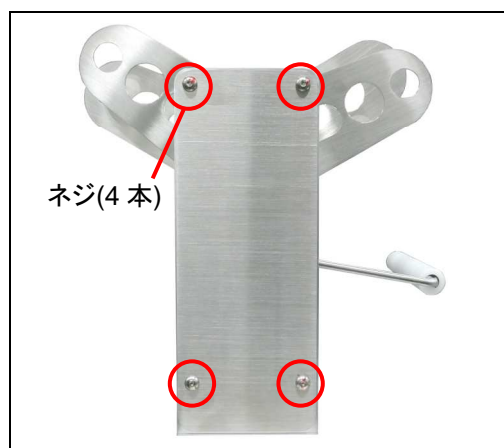
本手順書はラベラー本体が左流れの場合の手順を想定し、説明しております。
ラベラー本体が**右流れ**の場合は、参照画像を**左右反転**させてご対応ください。

■ 作業開始前にご準備頂くもの

- ① 六角レンチセット
- ② ラジオペンチ

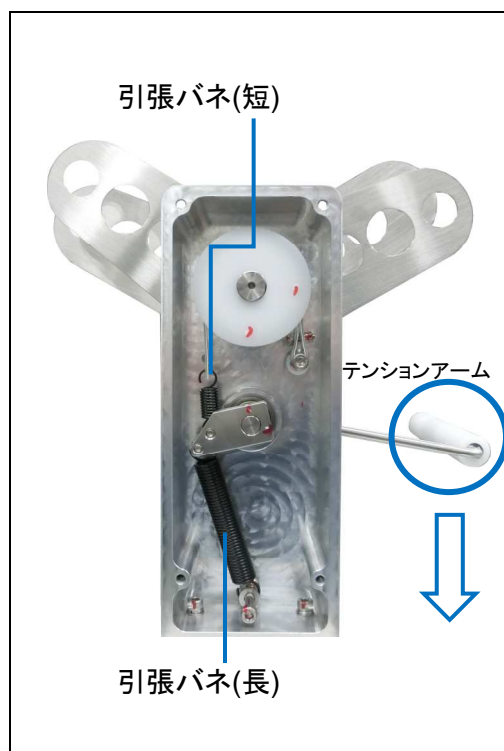


- 1 ラベラー背面のネジ(4本)を外し、カバーを取り外します。



- 2 テンションアームを下げます。

- テンションアームは手で押し込むと下げることができます。

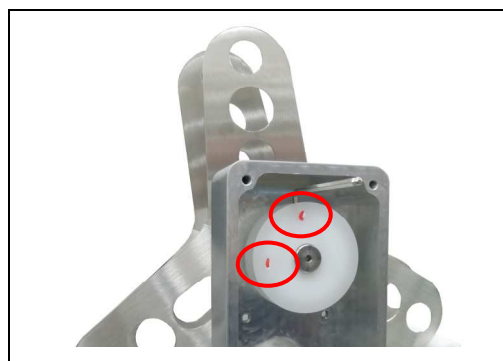


3 テンションアームを下げた状態(手順2の状態)で、ブレーキベルトを引張バネ(短)から取り外します。

- ラジオペンチ等を用いて取り外してください。
- 取り外しの際、引張バネを変形させないようにご注意ください。
- バネ先端部は鋭利ですので、手や指を怪我しないようお取り扱いにご注意ください。
- 取り外しが完了したらテンションアームから手を放し、通常の位置に戻してください。



4 ブレーキホイルのセットビス(2本)を緩めます。



5 ブレーキホイルを取り外した箇所にシャフトスペーサーが組み込まれていることを確認します。

- シャフトスペーサーは取り外したブレーキホイルの裏面に張り付いている場合があるので、紛失しないよう注意してください。
- 製造ロットによってはシャフトスペーサーが使用されていない場合があります。その場合はシャフトスペーサーを取り付けてください。



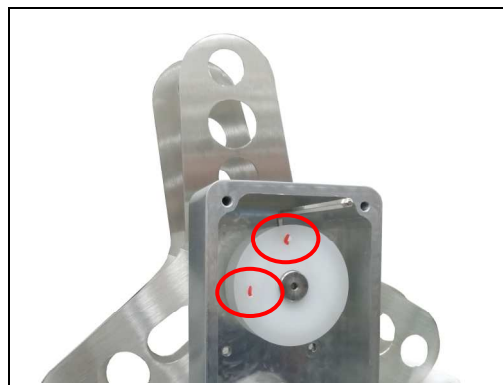
6 ブレーキホイルの取り外しが完了したら、ブレーキホイルを交換します。

7 交換したブレーキホイルをシャフトの一番奥まで入れ込みます。

- ブレーキホイルを入れ込んだ際、受軸のガタつきや固着がないことを確認します。

8 手順4で取り外したセットビスを取り付け、再度締めます。

- ブレーキホイル破損の原因になるため、セットビスの締めすぎにご注意願います。



9 ブレーキベルトをブレーキホイルに掛けます。

10 テンションアームを下げ(手順2の状態)、ブレーキホイールに掛けたブレーキベルトと引張バネ(短)を取り付けます。

- テンションアームは手で押し込むと下げることができます。ラジオペンチ等を用いて取り付けてください。
- 取り外しの際、引張バネを変形させないようにご注意ください。
- バネ先端部は鋭利ですので、手や指を怪我しないようお取り扱いにごご注意ください。
- 取り外しが完了したらテンションアームから手を放し、通常の位置に戻してください。



11 手順1で外したカバーを取り付け、ネジを締めます。

